

情報共有

(2枚非管理メモ)

5/12 13:58 FAX

本日(5/12)の福島事務所における9時定例および12時20分臨時レク概要をお送りいたします。

<5/12(木)9時定例レク概要>

<説明内容>

①プラント関連パラメータの状況報告(5月12日 6:00現在)【口頭説明】

【2, 3号機】

・大きな変化はなく、通常の変動の範囲内

【1号機】

・昨日、原子炉圧力容器水位計の校正を実施
・燃料域A系がダウンスケールで数値が正しく出てこない

②プラント状況、本日の作業予定について【口頭説明】

【1号機】

- 給水系ラインからの淡水注入について
- 原子炉格納容器への窒素封入について
- 燃料域上部冠水のための計器校正について
- 原子炉代替冷却設備設置工事について

【2号機】

- 消火系ラインからの淡水注入について
- 集中廃棄物処理施設への高レベル廃液移送について

【3号機】

- 消火系ラインからの淡水注入について
 - ・本日、給水系ラインからの注入へ変更予定
- 3号機取水口付近のピットから取水口内への流出について
 - ・流入・流出経路の調査を実施
- 代替冷却設備設置について
 - ・本日Bob Cat、Brokk 90によるガレキ撤去作業実施予定

【4号機】

- 4号機SFPへの冷却浄化系ラインからの注水について
- SFP底部支持構造物設置工事について
 - ・大物搬入口付近他ガレキ撤去予定(本日継続)

【6号機】

- T/B地下階たまり水の仮設タンクへの移送について

【その他】

- 飛散防止剤の樹脂散布(有人、リモート車両)について
- リモートコントロール重機でのガレキ撤去について
- 外部送電線大船線2号線の復旧について
 - ・全ての作業を実施し異常なし

<主な質疑>

- Q. 1号機の原子炉水位(A系)がダウンスケールとはどのような状況か。
 A. 燃料域の指示値を示せる値よりも下になっているということ。-3, 000mmまでは示せるが、それ以下になっているという状況。
- Q. 格納容器の水位について言及できることは。
 A. 従前より水位は格納容器の球赤道付近と言っているが、それ以上は今のところ言及できることはない。これから評価していかなくてはならない。
- Q. 原子炉水位についてどういうことが想定されるのか。
 A. 燃料域から-3, 000mmまでに水はないという判断になるが、これから評価していく。
- Q. 水位は下がっているが、一方で温度は下降しているが。
 A. 水位は下がっているが冷却はできているという状況。
- Q. 燃料棒が崩れていて、-3, 000mm以下にあるということか。
 A. 詳細な状況は確認できていないが、燃料頂部より3m以上低い所に水位があるということ。

- Q. 水位が低下していて、燃料棒が正常な状態で炉水温度が低下していることはありえないのではないか。
- A. 状況が確認できていないため何とも言えないが、現在の状況から言えるのは、圧力容器温度が100℃～120℃なので炉心は冷却されていると考える。
- Q. B系は数値が出ているが。
- A. B系は校正していないので、これまでと同様の数値となっている。
- Q. 計器の点検校正したA系の値の信頼性は高いのか。
- A. きちんと評価しなければならないが校正後の値なので、信頼すべき状況と考える。
- Q. -3, 000mm以下でどのあたりに水位があるのか計測することは可能か。
- A. 現在進めている評価を踏まえ検討中。

以 上

<5/12(木) 12時20分臨時レク概要>

<説明内容>

- 原子炉格納容器圧力計の校正 【資料配付】
- 20110510～20110511原子炉水位計(燃料域)の校正 【資料配付】
- ※静止画提供

<主な質疑>

- Q. 現在燃料はむき出しの状態ということか？
- A. 圧力容器の温度の推移からすると、燃料は所定の装荷位置よりも下の位置で安定的に冷却できていると考えている。
- Q. 状況確認の手段は他に何かないのか？
- A. 随時検討中である。
- Q. 差圧計はいつ取り付けたのか？
- A. 計器校正の際に仮設で取り付けた。
- Q. これまで注入してきた水では燃料を冷却できていなかったとのことか？
- A. 評価中である。
- Q. 注入していた水は漏れていたのか、それとも蒸発していたのか？
もしくはどこかに漏洩していたのか？
- A. 現状では判断しかねる。
- Q. 仮に格納容器からリークしていた場合の対策は？
- A. 状況によって対策も異なってくる。
今後検討していく。
- Q. 2u、3uでも同じような状態が考えられるのか？
- A. 否定はできない。
今後検討していかなければならないと考えている。

以 上

情報 報告

5/12 16:00' FLX

東京電力株式会社

1枚

(非管理用)

手許資料

本日(5/12)の福島事務所における15時定例レク概要をお送りいたします。

5/12(木)15時定例レク概要

<説明内容>

- ① 1Fプラント状況等のお知らせ【資料配付】
- ② 2F緊急安全対策訓練の実施について【口頭説明】
- ③ プラント関連パラメータについて【口頭説明】
- ④ 作業状況等について【口頭説明】
 - 3u原子炉注水ラインについて
 - 3uガレキ撤去の中止について
 - 4u SFPガレキ撤去について
 - 飛散防止剤：無人は中止、有人のみ実施
 - 3u地下階たまり水の移送について
 - 6uタービンたまり水の移送について

<主な質疑>

- Q. 2、3u原子炉水位数値の信頼度はどう考えているのか。
- A. 通常の状態ではないため、あまり信頼できる状態ではないが傾向を把握することはできる。

- Q. 2、3uの校正作業の予定は。
- A. 各号機とも環境整備等をしないと作業に入れられないため予定はたっていない。

- Q. 6uたまり水の移送は、廃棄物処理施設をタンク代わりにするの。また、2uのように濡れを防ぐ準備はないのか。
- A. 建物自体に貯水するもの。2uとは違い移送量が少ない(10t)ため事前の大規模な準備は必要ない。

以上

情報共有 (1枚) 5/12 2000 FAX

非管理用

福島より20時頃

本日(5/12)の福島事務所における20時定例レク概要をお知らせいたします。

5/12(木)20時定例レク概要

<説明内容>

①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ
(5月12日 午後3時現在)【資料配付】②福島第一原子力発電所敷地内における空気中の
放射性物質の核種分析の結果について(第四十八報)福島第一原子力発電所付近の海水からの
放射性物質の検出について(第五十報)

茨城県沖における海水中の放射性物質の核種分析結果について(続報)

福島第一原子力発電所2号機の取水口付近からの
放射性物質を含む液体の海への流出について(続報38)福島第一原子力発電所タービン建屋付近の
サブドレンからの放射性物質の検出について福島第一原子力発電所構内における土壌中の放射性物質の
核種分析の結果について(続報8)集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果
【全て資料配付】③福島第一 3号機原子炉建屋内調査結果
※静止画を提供 【資料提供】

④福島第一原子力発電所の状況 【資料提供】

⑤作業状況、予定のお知らせ
○1u 作業環境改善作業と代替冷却設備の設置作業について
○3u 注水系統の切替工事について
・現在仮設ポンプと消防ポンプを平行で注水中
○3u 立坑閉塞作業について
○2u トレンチから集中RWへのたまり水移送について
○4u SFP底部強化工事の準備作業について
○6u T/B地下たまり水の移送について
○各号機のT/B地下階溜まり水、トレンチ立坑について
○リモートコントロールのガレキ撤去作業について
○飛散防止剤の樹脂散布について

<主な質疑>

Q. 3u 水漏れの影響について、サンプリング結果
(2号機の取水口付近)を見ると、漏れだした
のはごく最近だと思われるがどうか?A. ピット部分のみに注目すればそう考えられるが、
そういった事も含めて現在評価中である。Q. 3u 建屋内の調査について、代替冷却設備工事
のためにポイントとなる部分は?A. まずは作業環境を整えることが大事であり、
今後も調査、評価を行っていく。

Q. 3u 建屋内の状況について、1uと異なる部分は?

A. 規模や構造が異なるので、今後も現場調査を実施
していく。

以上